

県内観光事業者の業況聞き取り調査

業種	地域	8月入込実績 (対例年比)	9月予約状況 (対例年比)	特記事項
宿泊施設	村山	10～100%	10～85%	<p>「やまがた四季旅」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月は四季旅を使った日帰りツアーの利用が宿泊よりも多かった。 ・7・8月の集客に四季旅は大きく貢献した。 ・四季旅の利用は多いが、全体として宿泊に力強さは感じられず、宿泊料金を下げざるを得ない状況。 ・四季旅の影響は大きく、配分の上限に達し、割引できないことを伝えるとキャンセルされてしまう。 ・四季旅が終了すると集客が見込めず経営的に厳しい状況になるのではと危惧している。 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月中旬までは比較的好調だったが、緊急事態宣言の発令と県の感染拡大防止特別集中期間によりキャンセルの増加と新規予約の減少が目立つ。 ・ジュニアオリンピックや東北総体の開催に伴う関係者の宿泊で例年並みの入込となった。 ・平日のビジネス客は停滞したまま回復しない。リモートワークが増え、出張利用が減少している。 ・コロナの感染状況を見極めるため、宿泊直前で予約する傾向が続いており、9月の状況は見込めない。 ・丑年御縁年の年で例年以上に集客に力を入れてきたが、コロナの再拡大で宿泊に大きな影響が出ている。
	最上	55～60%	40～55%	
	置賜	30～70%	60～80%	
	庄内	30～90%	40～90%	

業種	8月上実績 (対例年比)	9月入込見込 (対例年比)	特記事項
立寄施設	10～65%	30～90%	<ul style="list-style-type: none"> ・四季旅クーポンは月を追うごとに取扱件数が増えている。 ・9月は教育旅行の予約が多く入っていたが、キャンセルや延期となった。 ・「上杉まつり」や「なせばなる秋まつり」が中止となり、入込は大変厳しいものと見込んでいる。 ・首都圏等の緊急事態宣言が大きく影響し、依然として人の動きは鈍い。 ・8月上旬から中旬にかけては県外客を含め、人の動きが活発だったが、緊急事態宣言や感染拡大防止特別集中期間に入ったことで客足は激減した。
旅行会社	10～120%	10～120%	<ul style="list-style-type: none"> ・感染拡大する中でも、四季旅を使った日帰り商品の販売が好調。 ・特別集中期間により、2～3割キャンセルが発生した。 ・全国的な感染者急増により、山形空港発着の県外ツアーはすべてキャンセルとなった。 ・感染拡大している中、ツアーの募集など旅行会社の営業活動は、顧客に悪い印象を与えてしまうため、非常に厳しい状況に置かれている。
交通事業者	15～30%	20～30%	<ul style="list-style-type: none"> ・県の感染拡大防止特別集中期間中の貸切バスの稼働はほぼゼロに近い。(県バス協会) ・9月実施予定だった教育旅行は10月、11月に延期となった。(県バス協会) ・県外から県内へのツアーは9月12日出発まですべて中止となった。(県バス協会) ・人流が減少し、タクシー需要が大きく減少している(県ハイヤー協会)